

平成22年5月15日

情報処理学会北陸支部 平成22年度通常総会

正会員 : 326名
出席者 : 101名
委任状提出 : 82名

日時 : 平成22年5月15日(土) 13:30~14:20

会場 : 金沢工業大学(8-101)

議事 :

1. 平成21年度事業報告(資料1)
2. 平成21年度会計報告(資料2)
3. 平成21年度会計監査報告(資料3)
4. 情報処理学会北陸支部表彰規定の付表(資料4)
5. 平成22年度支部役員改選結果(資料5)
6. 平成22年度役員(案)(資料6)
7. 平成22年度評議員(案)(資料7)
8. 平成22年度事業計画(案)(資料8)
9. 平成22年度予算(案)(資料9)
10. 学会本部報告(塚本本部理事)
11. その他
 - ・推薦論文制度の改訂と論文誌特集号について(資料10)

平成21年度事業報告

1. 支部通常総会

期日：平成21年5月16日（土）
会場：金沢工業大学講義室
参加人数：129名（内、委任状出席109名）

2. 特別講演会

期日：平成21年5月16日（土）
会場：金沢工業大学講義室
演題：「プログラミングは情報社会のためならず」
講師：和田 英一 氏（IIJ技術研究所 所長）
参加人数：42名

3. 幹事会・評議員会

第1回幹事会・評議員会
期日：平成21年5月16日（金）
会場：金沢工業大学会議室
第2回幹事会・評議員会
期日：平成21年11月20日（金）
会場：ANAクラウンプラザホテル金沢
第3回幹事会・評議員会
期日：平成22年3月16日（火）
会場：金沢都ホテル
第4回幹事会・評議員会
期日：平成22年5月15日（土）
会場：金沢工業大学

4. 研究講演会

第1回研究講演会（共催）（主催：金沢学院大学）
期日：平成21年10月10日（土）
会場：南町中央ビル6階・本学サテライト教室（金沢市南町）
演題：「アウェアネスの科学」
講師：國藤 進氏（北陸科学技術大学院大学教授）、岡田 政則氏（情報デザイン学科教授）
参加人数：30名
第2回研究講演会
期日：平成21年10月20日（火）
会場：富山県立大学
演題：「生体情報のセンシング技術とその応用」
講師：田村 宏樹氏（宮崎大学工学部電気電子工学科）
参加人数：30名

第3回研究講演会

期日：平成21年11月18日（水）
会場：金沢大学自然科学研究棟レクチャーホール
演題：「進化する組み込みシステム用リアルタイムOS」
講師：本田 晋也氏（名古屋大学大学院情報科学研究科）
参加人数：30名

第4回研究講演会

期日：平成21年11月28日（土）
会場：金沢工業大学 多目的ホール
演題：「天文学の発展と情報技術」
講師：岡村 定矩氏（前東京大学副学長 東京大学理学部天文学科教授）
参加人数：70名

5. 平成21年度電気関係学会北陸支部連合大会

期日：平成21年9月12日（土）、13日（日）
開催校：北陸先端科学技術大学院大学
情報処理学会北陸支部優秀論文発表賞の審査
本支部推薦の招待講演
演題：「情報の見える化技術の最新動向」
講師：柿元 俊博 氏（金沢工業大学情報学部情報工学科 教授）

6. 見学会

期日：平成21年11月20日（金）
場所：ドコモ北陸・モバイル工房
参加者数：10名

7. 北陸支部HP立ち上げ

独自ドメイン：<http://www.ipsj-hokuriku.gr.jp/>

参考（独自ドメイン支部）

- ・北海道支部 <http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/>
- ・東北支部 <http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/>
- ・東海支部 <http://www.ipsj-tokai.jp/>
- ・四国支部 <http://ipsj-shikoku.is.kochi-u.ac.jp/>
- ・九州支部 <http://www.mickey.ai.kyutech.ac.jp/~ipsj/>

支部ホームページ運用指針

1. 各支部のホームページの運営は、デザインを含め、各支部が責任を持って自主的に行うが、以下の事項は遵守する。
 - (1) 次を掲載すること。
 - ・学会名「情報処理学会」
 - ・支部名「〇〇支部」
 - (2) 本部のホームページにリンクを貼ること。
 - ・情報処理学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>)
 - (3) 随時内容を更新し、最新情報を掲載すること。
 - (4) 支部ホームページのアドレスを変更する場合は、事前に本部事務局に連絡すること。
2. その他

- (1) 情報処理学会のロゴ、および本部ホームページのテンプレートは、使用可能なので、希望があれば本部事務局に連絡すること。
- (2) 支部のHPを情報処理学会のドメイン (<http://www.ipsj.or.jp/>) の下にリダイレクトしたい場合は、本部事務局に連絡すること。
- ⇒ 本部HPの「支部の案内」(<http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/sibu.html>) からリンク

8. 平成21年度優秀論文発表賞

平成21年度電気関係学会北陸支部連合大会において、大会事務局に依頼し、19名の審査を行った。第2回幹事会・評議員会において選定を行い、表の6名が受賞した。受賞者には指導教員を通じて、賞状、トロフィーを贈呈した。

平成21年度優秀論文発表賞受賞者

No.	氏名	学校	論文題目
1	蟹川貴仁	富山大学大学院 理工学教育部	動画像中の歩行者抽出と人物部位特定に関する検討
2	山本哲也	富山大学大学院 理工学教育部	道路標識の補助標識抽出に関する研究
3	北畑佑紀枝	福井大学工学部 知能システム工学科	無線LANの位置情報を用いた施設内案内システム
4	古金達也	富山大学工学部 知能情報工学科	フレーム間合成を用いた夜間における路面抽出
5	谷元 祐太	富山県立大学大学院工学研究科 情報システム工学専攻	音声地図によるメンタルマップ生成のための補助支援に関する検討
6	神谷将樹	福井大学工学部 知能システム工学科	イーサフォン技術を用いたセンサネットワークの検討と実装

9. 平成21年度優秀学生表彰

各校からのご推薦に基づき、表の13校(14地区)の14名に対し、優秀学生表彰を実施した。表彰状、記念盾を贈呈するとともに、希望者には、更に、副賞として入会金および会費1年分を贈呈した。

平成21年度優秀学生賞受賞者

学校	所属	氏名	卒業式	副賞
福井大学	工学部 情報・メディア工学科	西村 祐介	3月23日	受理
福井工業大学	工学部 経営情報学科	関 直樹	3月15日	受理
福井工業高等専門学校	電子情報工学科	大石 航	3月18日	受理
北陸先端科学技術大学院大学	情報科学研究科 情報処理学専攻	坂本 鐘期	3月24日	不要
金沢大学	工学部 情報システム工学科	宮原 大貴	3月23日	受理
金沢工業大学	工学部 情報工学科	小林 尚由	3月19日	受理
金沢学院大学	美術文化学部情報デザイン学科	折井 孝旭	3月20日	受理
石川工業高等専門学校	電子情報工学科	中村 祐樹	3月19日	受理
金沢工業高等専門学校	国際コミュニケーション情報工学科	石坂 亮太	3月13日	受理
富山大学	工学部 知能情報工学科	石黒 裕太郎	3月24日	不要
富山県立大学	工学部 電子情報システム工学科	前田 一也	3月24日	受理
富山国際大学	地域学部 環境情報ビジネス学科	野口 麻美子	3月18日	受理
富山高等専門学校	情報工学科	内島 晃司	3月9日	受理
富山高等専門学校	電気工学科	河原 輝幸	3月18日	受理

10. 平成21年度 研究業績賞

応募者は、以下に示す博士前期課程（修士課程）1名のみであり、博士後期課程（博士課程）からの応募者はなかった。慎重に審査を行った結果、下記1名に賞を贈ることに決定した。

課程	学生氏名	対象者所属	題名
博士前期課程 (修士課程)	上田 貴晃	富山大学大学院 理工学研究科 知能情報工学専攻	高分解能な周波数解析手法を用いた移動 物体の動き推定法に関する研究

11. 平成21年度 北陸地区学生による研究発表会（共催）

期日：平成22年3月6日（土）

会場：金沢工業高等専門学校

(資料2)

平成22年5月15日

情報処理学会北陸支部
平成21年度 会計決算報告 (平成22年3月31日現在)

収入	平成21年度		
	予算	実績	備考
本部からの繰入相当額	1,380,000	1,380,000	
予算配分額(支部交付金相当額)	1,380,000	1,380,000	
記念事業支援金相当額	0	0	
事業収入	60,000	36,000	
支部大会	0	0	
講演会	0	0	
研究会	0	0	
懇親会費	60,000	36,000	参加者12名
補助金収入	0	0	
補助・助成	0	0	
雑収入(利息等)	3,000	542	
当期収入合計(A)	1,443,000	1,416,542	
前期繰越収支差額	1,823,333	1,823,333	
収入合計(B)	3,266,333	3,239,875	
支出	平成21年度		
	予算	実績	備考
事業費	1,500,000	837,478	
総会費	80,000	45,000	懇親会費
研究会費	30,000	0	
講演会費	650,000	253,960	4回実施
見学会費	10,000	0	
支部連合大会	150,000	150,000	JAIST
優秀学生表彰	250,000	190,220	副賞含む
優秀論文発表賞	180,000	84,380	
大学院生研究業績賞	100,000	43,350	
学生研究発表会	40,000	40,000	金沢高専
その他	10,000	30,568	源泉徴収, 手数料, お茶
管理費	480,000	401,009	
会議費	120,000	90,162	会場使用料
旅費	180,000	176,970	幹事会・総会講演旅費
総会アルバイト代(事業委託費)	30,000	47,700	
ホームページサーバ使用料(事業委託費)	30,000	24,335	朝日ネット
その他	0	0	
通信費	70,000	16,658	本部への郵送料
印刷費	40,000	32,900	総会はがき代
雑費	10,000	12,284	HPソフトを含む
予備費等(任意)	0	0	
当期支出合計(C)	1,980,000	1,238,487	
当期収支差額(A-C)	(537,000)	178,055	
次期繰越収支差額(B-C)	1,286,333	2,001,388	

(資料3)
平成22年5月15日

平成22年5月13日

情報処理学会北陸支部
支部長 松尾和洋 殿

情報処理学会北陸支部
平成21年度 会計監査実施報告書

情報処理学会北陸支部平成21年度事業運営費の決算処理に伴い、収入の部及び支出の部の会計監査として帳簿及び確認証等をチェックしたところ、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

平成22年5月13日
情報処理学会北陸支部

監事

宮本 茂明 

情報処理学会北陸支部表彰規定

(総則)

第1条 支部規約第3条第1項第(5)号にもとづく関係事業として、表彰はこの規程により行う。

第2条 表彰の種類は、次のとおりとする。

- (1) 優秀学生賞
- (2) 優秀論文発表賞
- (3) 研究業績賞
- (4) その他、支部で特に認めた賞

(優秀学生賞)

第3条 優秀学生賞は、本支部内の情報処理関係の大学及び高専等において、学業成績が優秀であり、かつ将来の活躍が期待される者に贈呈する。

第4条 付表に記載した学校に優秀学生賞候補の推薦を依頼し、各学校から推薦された学生を受賞者とする。

2. 各学校が推薦できる候補者は、当該年度の卒業および卒業見込み(修了及び修了見込み)の者で、1名を限度とする。
3. 候補者は会員であることを必要としない。

第5条 優秀学生賞は、賞状および楯とし、さらに、希望者には本学会の年会費(次年度1年分)と未入会であれば入会費を贈る。

第6条 受賞者への賞状および楯の伝達は、各学校に依頼する。

(優秀論文発表賞)

第7条 優秀論文発表賞は、支部主催の電気関係学会北陸支部連合大会(以下「支部連合大会」という)における情報処理関係の発表を審査し、優秀であると判断された者に贈呈する。

第8条 優秀論文発表賞を受ける者は、支部連合大会で発表した者で、次の各号全てに該当する者から選定する。

- (1) 本支部学生会員(応募時には入会手続き中も可)である者
- (2) 講演者として登録しかつ講演を行った者

第9条 優秀論文発表賞は、支部連合大会事務局を通じて、募集および審査を行う。

2. 審査は、原則としてセッションの座長と座長が任命する他1名によって行う。

第10条 前条の審査結果を基に、幹事会・評議員会で受賞者の選定を行う。ただし、受賞者は最大10名とする。

第11条 優秀論文発表賞は、賞状およびトロフィーとする。

(研究業績賞)

第12条 研究業績賞は、情報処理に関連する特に優秀な研究業績を挙げた者に贈呈する。

第13条 研究業績賞を受けるものは、情報処理に関連する、学術論文の掲載、国際会議発表、国内学会発表を行った者もしくは受賞をした者で、次の各号全てに該当する者から選定する。

- (1) 北陸地域の情報処理に関連する大学院の博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程）に在籍する院生、または、募集年度内に北陸地域の大学院を修了者した者
- (2) 本支部会員（応募時には入会手続き中も可）である者
- (3) 本学会の正会員である指導教員の推薦がある者

第14条 候補者の研究業績をもとに、幹事会・評議員会で受賞者の選定を行う。ただし、受賞者は博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程）それぞれ1名程度とする。

第15条 研究業績賞は、賞状およびトロフィーとする。

(雑則)

第16条 この規程に定めるものの他、表彰規程の運用に関する必要な事項は別に定める。

第17条 本規程の改廃は、幹事会・評議員会の議決により行う。

付 則

この規則は、平成21年5月16日より施行する。

付 表

推薦依頼校は次のとおりとする。

- ・福井大学
- ・福井工業大学
- ・福井工業高等専門学校
- ・北陸先端科学技術大学院大学
- ・金沢大学
- ・金沢工業大学
- ・金沢学院大学
- ・石川工業高等専門学校
- ・金沢工業高等専門学校
- ・富山大学
- ・富山県立大学
- ・富山国際大学
- ・富山工業高等専門学校富山高等専門学校（本郷キャンパス）
- ・富山商船高等専門学校富山高等専門学校（射水キャンパス）

(資料5) 掲載省略

(資料6) 掲載省略

(資料7) 掲載省略

平成22年度事業計画 (案)

1. 支部通常総会
期日：平成22年5月15日(土)
会場：金沢工業大学講義室(8-101)
2. 通常総会特別講演会
期日：平成22年5月15日(土)
会場：金沢工業大学講義室(1-110)
演題：「情報社会のミライ」
講師：塚本 昌彦 氏(神戸大学 教授)
3. 幹事会・評議員会
第1回 平成22年5月15日(土) 会場：金沢工業大学
第2回 平成22年11月頃 会場：金沢
第3回 平成23年 3月頃 会場：金沢
第4回 平成23年 5月頃 会場：未定
4. 研究講演会 7回程度
5. 研究会補助 1回程度
6. 平成22年度電気関係学会北陸支部連合大会
期日：9月11日(土)、12日(日)(予定)
開催校：福井工業高専
本支部推薦の招待講演
情報処理学会北陸支部優秀論文発表賞
7. 見学会
期日：平成22年11月頃
8. 平成22年度北陸地区学生による研究発表会
主催：電気関係学会北陸支部学生会(情報処理学会北陸支部共催)
9. 北陸支部優秀学生表彰
13校(14地区)に対して実施予定
10. 情報処理学会北陸支部大学院生優秀業績賞
11. 推薦論文の選考

(資料9)

平成22年5月15日

平成22年度 予算(案)

(1) 収入の部

収入項目	20年度決算	21年度決算	22年度予算	備考
前年度繰越金	¥1,760,650	¥1,823,333	¥2,001,388	
本部交付金	¥1,380,000	¥1,380,000	¥1,380,000	
懇親会費	¥44,000	¥36,000	¥40,000	
利息	¥3,452	¥542	¥0	
合計	¥3,188,102	¥3,239,875	¥3,421,388	

(2) 支出の部

支出項目	20年度決算	21年度決算	22年度予算	備考
1. 事業費				
(内訳)				
総会費	¥48,891	¥45,000	¥50,000	総会・懇親会費
研究会費	¥0	¥0	¥30,000	計1回を予定
講演会費	¥182,274	¥253,960	¥400,000	計7回を予定
見学費	¥6,930	¥0	¥10,000	手土産・タクシー代
支部連合大会	¥150,000	¥150,000	¥150,000	分担金
優秀学生表彰	¥222,766	¥190,220	¥180,000	表彰・盾
優秀論文発表賞	¥231,588	¥84,380	¥120,000	表彰・トロフィー
研究業績賞	¥113,295	¥43,350	¥100,000	表彰・トロフィー
学生研究発表会	¥40,000	¥40,000	¥40,000	分担金
その他	¥2,977	¥30,568	¥10,000	
小計	¥998,721	¥837,478	¥1,090,000	
2. 事務費				
(内訳)				
通信費	¥27,180	¥16,658	¥30,000	郵送代
印刷費	¥33,000	¥32,900	¥40,000	総会の案内状印刷
会議費	¥104,839	¥90,162	¥100,000	総会・幹事会・評議委員会
旅費	¥167,690	¥176,970	¥180,000	幹事会・評議員会旅費
事務委託費	¥27,900	¥72,035	¥130,000	WEBサイト・学生アルバイト
雑費	¥5,439	¥12,284	¥15,000	事務用品
小計	¥366,048	¥401,009	¥495,000	
3. 予備費	¥0	¥0	¥0	
次年度繰越金	¥1,823,333	¥2,001,388	¥1,836,388	

推薦論文制度の改訂と論文誌特集号について

社団法人 情報処理学会
論文誌ジャーナル/JIP編集委員会
委員長 田中 譲
副委員長 宗森 純

昨今、ジャーナル/JIP 論文誌編集委員会では、掲載論文数が減少傾向にあるためその対策として、特集号・推薦論文につき検討し、以下のとおり推薦論文制度を改訂いたしました。優れた論文のご推薦をこれまでよりも一層広い範囲から求めるべく提案母体の拡充をいたしましたので、是非、本制度をご利用いただければと存じます。

なお、ここでいう優れた論文とは、学術的に大きな意義と新規性を持ち、未発表であること、その主張の妥当性が明白かつ客観的に示されている論文を指します。国際的競争の中にあつて緊急性を要する課題に関する新しい重要な学術的成果に関する論文で、実際の応用環境における有用性評価に多大な時間を要することが明らかでない場合には、速報性を重視する観点から、論理的妥当性は十分に示されているものの実評価が充分とは言えない論文も、優れた論文と認める場合があります。

➤ 推薦論文の提案母体の拡充

これまでの各イベントからの推薦 (**A: 各イベントからの推薦**) に加え、1年間の発表の中からもご推薦いただけるようになりました。研究会または支部主催で開催されたイベントの1年間のご発表よりご推薦ください。これを以下のように呼びます。

B: 研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦

イベント毎の推薦もこれまで通り受け付けております。ひとつひとつのイベントの規模が小さく単独のイベントでは推薦が困難であったもの、支部の場合は、支部大会の2ページのものを基としていただけますので、是非ご推薦ください。

さらに、これまで国際会議からの推薦に関しては、本会主催のものにかぎられていたところを、本会共催の国際会議まで含めることにしました。

➤ 年間発表からの推薦の論文投稿期限

「B: 研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦」が承認されたものは、発表後24ヶ月まで投稿いただくことが可能です。

また、特集号の企画提案に関しましては、提案者や予想投稿数の規模に制限はございません。具体的には、例えば

- ・ 特定領域研究、ERATO、国主導のプロジェクトなどの大型プロジェクトの成果に関する特集
- ・ シンポジウムや国際会議を母体とした特集
- ・ 情報処理分野が今後進むべき方向に関する特集：例えばグリーンIT特集

- ・ 情報処理分野全体にまたがる特集や、いまは萌芽段階であるが、これから重要となりそうな分野に関する特集
- ・ 3つの領域（コンピューターサイエンス、情報環境、フロンティア）の各々で最近話題になっている研究内容に関する特集

などのような特集号の企画を期待し、ご提案をお待ちいたしております。

推薦論文制度

(変更箇所：下線部分)

1997年7月1日制定
2010年4月21日改訂(10)

本会主催の研究会、シンポジウム、ワークショップ、本会が主催ないし共催する国際会議、および支部主催シンポジウムにおいて発表された論文の中で、主催者またはプログラム委員会が優秀な論文と認定した論文を「推薦論文」と呼ぶ。推薦論文には、各イベントからの推薦と、研究会および支部による1年間の発表の中からの推薦との2つがある。

A: 各イベントからの推薦

主催者またはプログラム委員会は、「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に推薦することができる。ただし、推薦者は下記の通りである。

研究会：研究会主査*

シンポジウム：プログラム委員長または主催する研究会の主査*

ワークショップ：プログラム委員長または主催する研究会の主査*

国際会議：本会会員のプログラム委員長または主催・共催する本会研究会の主査*

支部主催シンポジウム：プログラム委員長または主催する支部の支部長

*研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議については、推薦が総意によってなされたことが分かる書類を添付することで、指定された推薦人の代理人をたてることを認める。

以下、推薦から査読そして掲載に至る手続きを述べる。

(1) 研究会主査/支部長/プログラム委員長は、推薦者として推薦論文推薦書を論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に提出する。なお、各イベントあたりの推薦論文数は、発表論文のうち、ページ数が6ページ以上の論文の総数の10%以内とする。

(2) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。

(3) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会/シンポジウム/ワークショップ/国際会議/支部主催シンポジウムにて報告され、同研究会主査/支部長/プログラム委員長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名はRecommended Paper とする。

(4) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(5) 推薦論文推薦書の提出締切は、上記本会主催イベントの終了後6ヵ月以内とする。推薦論文の投稿締切

は上記本会主催イベントの終了後 12 ヶ月以内とする。

B：研究会および支部による 1 年間の発表の中からの推薦

「推薦論文」を以下の手続きに従って論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会に推薦することができる。発表後の推薦投稿の有効期限はいずれも 24 ヶ月以内とする。

(b-1) 研究会による推薦論文

- (1) 1 年間の研究会における発表の中から、主査、幹事による選定を経て、2 編を主査・幹事全員の連名で推薦可能とする。(研究会が主催するシンポジウムからの推薦論文数は外数) (日本語、英語 2 編ずつの枠)
- (2) 研究会は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。
- (3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は、推薦書の推薦者のうちあらかじめ特別編集委員に指定してある 1 名に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。特別編集委員は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。
- (4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の〇〇〇〇研究会/シンポジウム/ワークショップにて報告され、同研究会主査・幹事全員（全員）により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。
- (5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

(b-2) 支部による推薦論文

- (1) 各支部で毎年 2 編の論文を支部会で選定し、支部長名で推薦可能とする。支部大会の 2 ページのものを基としてよい (日本語、英語 2 編ずつの枠)
- (2) 支部は論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が割り振った推薦時期に推薦を行うものとする。
- (3) 論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会は推薦者に、推薦論文の審査を担当する特別編集委員を委嘱する。ただし、支部主催シンポジウムの場合は推薦者が特別編集委員を推薦し委嘱する。推薦者は、論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会が規定するプロセスに従い査読する。なお、特別編集委員は、担当する推薦論文が判定される論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会小委員会に可能な限り参加し、判定に関する説明を行うものとする。
- (4) 推薦論文が採録になった場合には、推薦論文を掲載する際、論文タイトルの脚注に下記の推薦文を添える。「本論文の内容は〇〇年〇月の支部研究会/支部主催シンポジウム等にて報告され、支部長により情報処理学会論文誌ジャーナルへの掲載が推薦された論文である」。推薦論文の英語名は Recommended Paper とする。
- (5) 推薦論文が不採録になった場合には、その時点で推薦論文としての処理は終了する。

本制度は 2010 年 4 月 1 日より適用する。

平成 年 月 日

論文誌ジャーナル/JIP 編集委員会 御中

推薦論文推薦書

研究会/シンポジウム/ワークショップ/国際会議/支部主催のシンポジウム/支部大会等
研究会主査/支部長/プログラム委員長：〇〇〇〇

推薦論文として下記の論文を推薦いたします。

題目：

著者：

著者連絡先：

出典、開催日：

推薦理由：

著者の同意：得ている。これから得る。

推薦率（推薦元イベントの発表論文中、推薦論文数の割合）： %

備考欄：

特別編集委員（支部主催シンポジウムの場合）：

以上